

会 議 録

会 議 名	令和5年度みどりのまちづくり意見交換会				
開 催 日 時	令和5年7月27日（木）	開 会	午後3時00分		
		閉 会	午後4時30分		
開 催 場 所	東松山市役所 総合会館3階 301会議室				
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 東松山市みどりの基本計画に基づくみどりに関する施策 の実施状況について 4 その他 5 閉会				
公開・非公開の別	公 開	傍 聴 者 数	1 人		
非公開の理由 (非公開の場合)	—				
委員出欠状況	委員	中井 正則	出		
	委員	岡本 喜雄	出		
	委員	金子 恒雄	出		
	委員	稲田 滋夫	出		
	委員	木村 翔一	出		
	委員	盛島 巖	出		
	委員	田中 美智子	出		
事 務 局	都市計画課長 田嶋 徹夫				
	都市計画課副課長 石川 智之				
	都市計画課主査 小久保陽子				
	都市計画課主任 柿沼 千秋				

次 第	発 言 者	顛 末
1 開会	事務局	● 開会
2 挨拶	田嶋課長	● 挨拶
	事務局	● 委員の紹介 ● 職員の紹介 ● 配布資料確認
3 議事	座長	● 議事録署名委員に稲田委員と木村委員を指名 ● 会議の公開及び傍聴人の有無について確認 (確認後、傍聴人入室)
	事務局	● 議事1「東松山市みどりの基本計画に基づくみどりに関する施策の実施状況について」施策の柱1について、昨年度取組状況の説明および事前提出いただいた質問に対して回答。 質疑応答（○：質疑・意見、◇：回答）
	稲田委員	○ 基本施策3－具体的施策1に関連し、松山町三丁目市民農園が中止となった理由は、都市計画法第34条11号区域の縮小に伴い、宅地化する目的があったのではないか。広い農園だったので、続いて欲しかった。
	事務局	◇ 跡地で開発の計画があると聞いているため、地権者より返還要請があったと考えられる。
	田中委員	○ 今後、市民農園が徐々に減ってくるという認識でよいか。
	事務局	◇ 松山町三丁目市民農園については、市街化区域に近く土地利用が見込まれる区域であった。今年度より都市計画法第34条11号区域を縮小し、市街化調整区域での住宅建築に制限をかけているため、同様の状況が続くことは考えにくいですが、市民農園の継続的な確保について本会の意見として担当課へ伝える。
	事務局	● 議事1「東松山市みどりの基本計画に基づくみどりに関する施策の実施状況について」施策の柱2について、昨年度取組状況の説明および事前提出いただいた質問に対して回答。
	稲田委員	○ 基本施策1－具体的施策2に関連し、市民緑地制度では緑地の公開に必要な整備をすることとなっている

		が、今後の整備の方向性はあるのか。
	事務局	◇ 基本的には管理団体で施設整備をしていただく。市民緑地は県の補助金が活用できるため、管理団体へ案内している。
	稲田委員	○ 市の川・車堀公園は市街化調整区域にあるが、市民緑地は区域に関係なく指定できるのか。耕作放棄地でもできるのか。
	事務局	◇ 緑の保全という目的では市街化区域が主だが、東松山市市民緑地設置要綱では、設置要件を市街化区域及びその周辺としている。耕作放棄地でも、条件を満たせば設置できる。
	金子委員	○ 基本施策1－具体的施策1に関連し、クビアカツヤカミキリの、現状での市内の被害状況はどうなっているか。
	事務局	◇ 市民からの情報提供によると、令和3年度にフラス発生4件、成虫3匹。令和4年度にフラス11件、成虫20匹となっている。
	金子委員	○ 熊谷市、行田市、深谷市などでは被害が拡大しているため、引き続き対策をお願いしたい。これに関連し、カシノナガキクイムシへの対策はどうなっているか。
	事務局	◇ 主に丘陵地区と市民の森でカシノナガキクイムシの被害が発生している。丘陵地区では市民団体が捕獲トラップを仕掛けており、市民の森では市民の森保全クラブと指定管理者である東松山文化まちづくり公社が協力してトラップを仕掛け駆除に努めている。市としてはトラップ購入支援を今年度も実施している。
	稲田委員	○ 市民の森では、冬にナラ枯れ枯死木を伐採・玉切り・割材して中にいるカシナガ成虫と幼虫を駆除、夏はカシナガトラップで林内にいるカシナガ成虫を大量に捕殺し、マスアタックによる新たな被害木の発生を予防している。ナラ枯れ被害を100%抑える方法はないので、被害木と健全木に対して駆除と予防の2本立ての対策である。枯死木については落枝や倒木による事故を防ぐために、散策者の通る園路沿いを優先して伐採している。ナラ枯れ被害が拡大し、葉が赤褐色になって枯れているコナラを市内各所でみられるようになってきている。突然の落枝・倒木による人身事故や交通事故等が予想されるので、ナラ枯れ防除対策を実施する市内の森林所有者・管理者に対する支援・補助制度

		<p>が必要。ナラ枯れ被害木は倒れたり、枝が落ちてくる危険性があるので、「近づかないようにしてください」、「所有者の責任で対処してください」と言っているだけでなく、市は具体的な施策で支援することが必要である。</p>
	事務局	◇ 市内各所に被害が広がっており、公園だけの問題ではないと認識している。市全域の問題であるので、病害虫の所管である環境産業部に伝え、市としてできる対策を検討していきたい。
	盛島委員	○ クビアカツヤカミキリについて、昨年度、唐子中央公園で8本の被害が出ており、潜入痕があったものについては薬剤を注入し、駆除しきれなかったものについては木にネットを被せ駆除をした。被害状況や成虫の数について環境産業部に報告をしたが、どのような対策を取られたか不明なため、環境産業部に伝えてもらい、対策を考えていただきたい。
	中井委員	○ クビアカツヤカミキリをテーマとした講演会は1回限りなのか。何名の参加があったのか。
	稲田委員	◇ 環境基本計画市民推進委員会の運営委員をしているので申し上げると、市民環境会議の講演会参加者は会場8名、オンライン（Zoom）17名。市民環境会議は年2回開催で、現在は同じテーマでは続けてはいない。市のクビアカツヤカミキリ駆除奨励品交付事業（クビアカツヤカミキリの成虫の死骸10匹ごとに500円相当の地域通貨を交付）とリンクしてテーマと講師を選んだ。コロナ禍の中でオンライン参加者の増加を期待したがそれほどでもなく、Zoomを一度も使ったことのない人には敷居が高かったのかもしれない。講演会形式でない環境会議の開催なども検討していきたい。
	中井委員	○ オンライン開催であれば、残っている動画を活用できないか。
	事務局	◇ 動画の活用や啓発について、担当課に意見として伝える。
	田中委員	○ 小中学校の子供達への学習会などは行わないのか。この様に頑張ってくれている人たちがいることを、我々や保育園の子たちは知らない。色々な事に興味のある子供達なら、害虫により木が被害に遭っている状況を興味を持って聞いてもらえるのではないかと。幼少期か

	事務局	<p>ら、守ることの大切さを教えられたらよい。</p> <p>◇ 子育て部門に伝える。</p>
	事務局	<p>● 議事1「東松山市みどりの基本計画に基づくみどりに関する施策の実施状況について」施策の柱3について、昨年度取組状況の説明および事前提出いただいた質問に対して回答。</p>
	稲田委員	<p>○ 基本施策2－具体的施策3に関し、スプリング遊具1つとベンチしかないような、開発に伴う小さな公園は、統合や別の形での利用などアイデアはないのか。</p>
	事務局	<p>◇ 一定の面積を超える開発行為では、1つの開発で1つの公園設置義務が課されている。開発事業者が異なると隣の公園と合わせるということは難しい。遊具の設置についても事業者より事前協議はあるが、コスト面等から市の希望通りとはいかず、開発公園についてコントロールは難しいのが実情である。</p>
	岡本委員	<p>○ 東松山ぼたん園での夏場のミストはいつからか。昨日訪れたところ実施されておらず、来園者もいなかった。夏休みに入ったらすぐに始めるのが良いのではないか。東松山ぼたん園は管理費も掛かっているのに、夏場は使えないというのでは勿体ない。</p>
	事務局	<p>◇ 今年度のミスト実施は、8月からを予定している。春夏秋冬多くの方に使っていただけるような工夫を、指定管理者と協議する。</p>
	稲田委員	<p>○ 基本施策2－具体的施策1に関し、箭弓町第一公園のサウンディングで良い感触はあったのか。</p>
	事務局	<p>◇ 7社から意見をいただいた。駅に近いが大通りからは奥まっております、収益を上げるのは厳しいとの意見だった。</p>
	事務局	<p>● 議事1「東松山市みどりの基本計画に基づくみどりに関する施策の実施状況について」施策の柱4について、昨年度取組状況の説明および事前提出いただいた質問に対して回答。</p>
	岡本委員	<p>○ 基本施策10－具体的施策1に関し、市のホームページで先述の害虫の件など、環境学習として動画を流したら良いのではないか。「やりますよ」「やったよ」といった事だけでなく、「こういうことをやった」という</p>

	事務局	事を発信したら良いのではないか。
	木村委員	◇ 発信の仕方について、いただいたご意見を参考に広報部門とも有効な方法を検討したい。
	事務局	○ ツイッターは登録をしないと閲覧できず、災害時にはWebから閲覧し不便を感じている。
	稲田委員	◇ 災害情報はいんぷおメールに登録いただくことで、確実に届くような仕組みを取っているが、若い方を中心にSNSの利用が増えているため、使いやすい方法でのご意見をいただきことを担当課に伝える。
		○ 大東文化大学付近で、ニワウルシが繁殖し並木のようになっており、奥の方にも広がっている。高木になると倒木の危険性もあり、早く対処した方がよいと思っている。北部（大岡小学校付近）でもニワウルシが広がっている可能性があり、ナラ枯れの後に外来種に置き換わってしまう恐れもあるため、何らかの対策を考えるべきである。
4 その他	事務局	● 特になし。
5 閉会		● 閉会

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和 5年 8月21日 署名委員 稲田 滋夫

令和 5年 8月17日 署名委員 木村 翔一